

令和3年度
札幌芸術の森及び
本郷新記念札幌彫刻美術館
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管理業務の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管理業務に係る収支決算・・・・・・・・・・・・・・・・	23
III	管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況・・	24

I 管理業務等の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

【札幌芸術の森】

芸術文化都市さっぽろのシンボルとして、個性ある新しい札幌文化を育てることを目指し、「制作・研修機能」、「情報・交流機能」、「鑑賞・発表機能」を持つ新しい芸術文化の場を創出し、札幌が誇りとする豊かな大自然と、都市、芸術、文化が調和した環境の形成を目的とするため、次の5つの基本方針を策定している。

- ①札幌芸術の森の特性を活かした魅力ある多彩な事業の実施
- ②芸術を担う人材育成と芸術を通じた人づくり
- ③自然と調和した事業展開と場づくり
- ④人と人が出会い、つながる交流の場としての機能の充実
- ⑤安全で利用しやすい施設づくり

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

札幌出身の彫刻家・本郷新の顕彰及び彫刻を中心とした美術の振興を図り、本郷新の残した作品・施設や生前の意思を引き継ぎつつ、幅広い年齢層を対象に美術館の運営をさらに進展させるため、次の4つの基本方針を策定している。

- ①本郷新の顕彰及び関連情報の収集・保存・公開
- ②彫刻を中心とした芸術文化の魅力を積極的に発信
- ③利用者の拡大と次代の担い手の育成
- ④市民に開かれ、立地環境を活かした施設運営

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

【札幌芸術の森】

利用受付は、利用者間の公平を図る観点から、受付開始日、締切日及び開始・終了時刻を定めているほか、受付は先着順とし、全ての利用者に対して公平な受付業務を行った。

受付の流れ、関連規則、施設の空き状況についても、分かりやすく十分に説明をするほか、利用者に向けた施設利用のしおりを作成した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

平等利用を確保するために、その方針及び取組項目を検討するとともに、研修会等を通じて、留意事項等について職員相互に基本的な考え方や心構えを確認した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

【札幌芸術の森】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気・水・ガス・灯油等の節約に努め、二酸化炭素排出の抑制に取り組んだ。

▼ 冷暖房について

夏場 28℃、冬場 24℃の温度設定で継続的に節電を実施した。また、職員を対象

にクールビズを促進した。

▼ 節電について

- ・従来より実施しているセンター事務所の照度 50%設定やセンター、アートホールロビー等の照明設備の間引き点灯を継続して実施した。センター事務所では休憩時間の照明を必要最低限なレベルまで間引いたり、不在時の消灯を徹底する等、更なる節電に努めた。
- ・従来より実施している、野外美術館シンボル彫刻の前の人工滝揚水ポンプの週末限定運転を引き続き実施するなど、消費電力の削減を図った。
- ・電力需要がひっ迫する野外ステージの大型イベントの開催時に自家発電を用意し、電力デマンドのピークカットに努めた。
- ・余分な電化製品のコンセントを抜く等、待機電源の削減に努めた。
- ・美術館展示室に続き、工芸館のスポットライト、また屋外の街路灯の LED 化を進めた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気の使用を控えるとともに、水、灯油、ガス等の節約に努め、二酸化炭素排出量の低減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

【札幌芸術の森】

- ▼ 管理業務の一層の効率的運用、中長期での組織運営のあり方などについて検討し、必要に応じた適切な採用・適正部署への配置を行った。
- ▼ 統括責任者として芸術の森事業部長を、職務代理者として芸術の森事業部管理課長を配置している。
- ▼ 芸術の森美術館に、学芸員の資格を有する職員 6 人を配置している。
- ▼ 各職員の習熟度に応じた計画的な研修を行い、スキルアップに努めた。
 - ・ 4 月 新規採用職員研修
安全運転講習
 - ・ 6 月・10 月 パソコン研修
 - ・ 7～8 月 新任課長職・新任係長職研修
 - ・ 2～3 月 管理職マネジメント研修
(個人情報保護・情報セキュリティ・SNS のリスクを知る)
コンプライアンス研修
(個人情報の扱いなど情報セキュリティを含む)
SDG s 研修
 - ・ 随時 公益法人会計セミナー

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 統括責任者として彫刻美術館課長を、職務代理者として彫刻美術館業務係長を配置しているほか、業務分担、連絡系統等を定めた。

- ▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館に、学芸員の資格を有する職員3人を配置している。
- ▼ 各職員の習熟度に応じた研修を計画的に行い、スキルアップに努めた。札幌芸術の森との合同で職員研修を行ったほか、館独自で現場研修や各展覧会ごとにパート職員を含めた研修を実施した。
 - ・ 4月 現場研修「彫刻の設計図」展
現場研修「100の石膏像」展
 - ・ 6月 現場研修「この地ならではの表現を求めて」講話
 - ・ 7月 現場研修「宮の森」展
現場研修「40年のあゆみ展」
ハロー！ミュージアム協力員研修
 - ・ 10月 現場研修「高橋喜代史展」
ハロー！ミュージアム協力員研修
現場研修 防災訓練
 - ・ 12月 現場研修「社会性なきところに現代アートの魅力はない」講話
 - ・ 1月 現場研修「雪像彫刻展」
現場研修「はじめてのほんごうしん」展
ハロー！ミュージアム協力員研修
 - ・ 3月 現場研修「徹底討論・これからの10年」講話
- ▼ 事業内容や運営の実務については、美術館内の会議を通して職員間での共通理解を深めた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

【札幌芸術の森】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアソフトを活用し、事業部内及び財団全体の職員間で情報共有を行った。
- ▼ 園内に点在する施設間においても、来園者と接する機会の多い委託業者（受付、警備、施設設備管理、清掃）と職員間での情報共有ツールとして、上記グループウェアソフトや内線、携帯電話による連絡網もあわせて活用した。
- ▼ 安定した管理体制と来園者へのサービス向上を目指し、職員と常駐委託業者が事故や問題点、今後の予定などお客様対応に必要な情報の共有や意見交換を行うための会議を毎週、実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアソフトを活用し、美術館内及び財団全体での情報共有を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

【札幌芸術の森】

- ▼ 計画書、仕様書に基づき、清掃、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、

適正な業務遂行を実施した。

- ▼ 第三者に対する委託に関して、入札等による適切な契約を行うことにより、経費節減と業務内容の充実と向上に努めた。なお、経費節減等が期待できる一部の業務については、複数年契約を締結した。

- ▼ 受託者の業務については立会を行うとともに作業完了報告書の確認と業務内容の検査を実施し、適正な業務を遂行させることができた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 計画書、仕様書に基づき、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

【札幌芸術の森】

- ▼ 札幌芸術の森運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 (6月22日)	(1)令和2年度管理運営業務の報告について (2)令和3年度管理運営業務の経過報告について
第2回 (9月24日)	(1)令和3年度管理運営業務の経過報告について (2)札幌芸術の森駐車場利用料金(回数券)について
第3回 (12月15日)	令和3年度管理運営業務の経過報告について
第4回 (3月23日)	(1)令和3年度管理運営業務の経過報告について (2)駐車場予約券について
<p><協議会メンバー> 地 域：芸術の森地区まちづくりセンター所長 利用者：施設利用者 有識者：放送局、新聞社、旅行代理店、大学教授、 MICE 団体 ボランティア団体：野外美術館解説ボランティア 札幌市：市民文化局文化部長 指定管理者：芸術の森事業部長</p>	

- ▼ 政策推進連絡会の開催

開催日

令和4年1月21日 14時30分～16時30分

意見交換等の項目

- ・令和3年度予算執行見込みについて

- ・令和4年度の事業展開について
- ・次期指定管理更新に向けた確認事項について

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第1回 6月24日 * 書面開催	・新型コロナウイルス感染症の影響と対応 ・令和3年度事業計画
第2回 10月15日	・新型コロナウイルス感染症の影響と対応 ・令和3年度事業計画報告(上半期)
第3回 2月4日 * 書面開催	・令和3年度事業計画報告 ・令和4年度事業企画状況
<協議会メンバー> 利用者団体: 札幌市立大倉山小学校 PTA 利用者団体: 札幌彫刻美術館友の会副会長 地元自治会: 宮の森明和会会長 学識経験者: 札幌市立三角山小学校校長 財団評議員: 彫刻家 札幌市: 市民文化局文化部文化振興課課長 指定管理者: 彫刻美術館館長(芸術の森事業部彫刻美術館課長)	

▼ 政策推進連絡会の開催

開催日

令和4年3月3日 15時00分～16時30分

意見交換等の項目

- ・今年度の予算執行見込みについて
- ・次年度の事業展開について
- ・次期指定管更新に向けた仕様書の確認について
- ・各種協議事項
- ・防犯カメラの設置について

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。また、内部監査やセ

ルフモニタリングにより、当財団管理施設をまたいだ相互的なチェック体制を導入している。

- ▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱を整備しており、出納員及び分任出納員による一元管理を行っている。また、複数職員でのチェックを行うことで、事故防止に努めた。

▽ 要望・苦情対応

【札幌芸術の森】

- ▼ お客様からの要望・苦情があった場合には、文書や財団内 LAN によるグループウェアソフト等を活用し、担当課及び関連部署の職員間で速やかに情報共有を図り、対応確認を行った。指摘事項に関しては、担当者間で協議し、利用者の利便性を優先した迅速な対応に努めた。

また、アンケートにて要望のあった事項について、対応なども含めホームページで閲覧できるように対応した。

- ▼ 札幌芸術の森ホームページに寄せられる問い合わせについても、関係部署で情報共有を図り回答した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 要望・苦情のあった際は職員間で情報を共有し、迅速に検討・対応した。
- ▼ 代表メールアドレス宛に届いた問い合わせに対しても、情報共有を図り、迅速に回答した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。
 - ・管理業務に関する諸規程
 - ・文書管理簿
 - ・各年度の事業計画及び事業報告書
 - ・収支予算・決算に関する書類
 - ・金銭出納に関する帳簿
 - ・物品の受払いに関する帳簿
 - ・各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類
- ▼ セルフモニタリングについては、来園者、利用者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、セルフモニタリングや業務・財務検査を通して管理運営に関する自己チェックを実施した。
- ▼ 札幌市による施設の管理運営に関する検査等へは誠実に対応した。
- ▼ 自己評価の実施については、施設の利用状況、主催・自主事業の実施状況等について、毎年度、事業報告書と合わせて札幌市に提出している。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 適正な内容で 36 協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。
- ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。
- ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。
- ▼ 毎月の給与計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、財団の総務課が社会保険労務士事務所に委託しており、労働関係法令改正への対応についても、社会保険労務士と相談して行っている。
- ▼ 労働安全衛生法及び当財団衛生委員会要綱に基づき衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康管理及び職場環境の向上に努めている。
- ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。また、各種ハラスメント対応のための専用相談窓口を設けている。
- ▼ 木工房の管理運営にかかる法令・通知・公示と安全衛生の向上や労働災害防止を目的とする各工作機械のガイドラインについて、業界団体の定期刊行物の購読により情報収集に努めることとしたほか、労働安全衛生法に準拠した木工房管理マニュアルを整備し、より一層安全な工房管理に努めている。
- ▼ 労働災害・事故について、5 件の労働災害が発生した。内 1 件は、令和 2 年度に起きた事故を令和 3 年度に遡って労災を申請した。

3 施設・設備等の維持管理業務

▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）

【札幌芸術の森】

- ▼ 利用者の安全を確保するため、園内の施設、設備の定期的な点検・維持管理を行っている。
また、管理課職員と常駐委託業者をメンバーとした施設連絡会議を週に 1 回実施し、施設管理に係る情報共有を行った。
- ▼ 園内へのヒグマ進入防止のため、園の外周に電気柵を設置し対策を講じている。電気柵の維持管理については、専門業者による早期の設置と定期点検

を行うほか、職員による目視点検を日常的に行い、柵の維持や異変の早期発見に注力した。市内熊出没情報を注視し、周辺で熊の出没があった場合は、警備巡回の頻度を増やし来園者が安心して利用できる環境の確保に努めた。

- ▼ 冬季は、除雪業者と連携をはかり、急な天候の変化などにも迅速かつ細やかに対応し、来園者の利便性が損なわれないようにするとともに、安全の確保にも努めた。車道、園路が凍結している時には砂まきや融雪剤の散布等をこまめに行うとともに注意喚起の掲示を増やし、転倒や事故の防止に努めた。
- ▼ 拾得物の取扱いについては、所轄の警察署の助言を得て改訂した拾得物取扱マニュアルにより適切に取り扱っている。また、落とし主に速やかに返却されるよう、拾得物の情報を職員及びスタッフ間で随時共有している。
- ▼ 損害賠償保険は継続して、仕様に適合したものに加入した。
- ▼ 利用者の人身・物損事故はなかった。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 利用者等の安全確保を第一に対応した。特に、冬期間は転倒防止のための砂まき、雪庇等の落雪事故防止の表示、カラーコーンの設置等を行った。
- ▼ 建物の構造上段差が多いため、特に高齢者・障がいのある人に対しては声掛けなどの配慮を行った。
- ▼ 記念館に常設の大型石膏像のうち1点に対して、転倒防止のため、壁面に固定する措置を行った。
- ▼ 損害賠償保険は継続して、仕様に適合したものに加入した。
- ▼ 利用者の人身・物損事故はなかった。記念館玄関での靴の盗難事件が1件発生したことを受け、鍵付きのシューボックスを設置することで、来館者の安全の向上を図った。

▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）

【札幌芸術の森】

- ▼ 施設維持管理にあたっては、来園者の安全・快適性を確保して適切に行った。適切な管理を行うため業務委託項目の見直しを行い、清掃や警備等、施設管理に関わる業務、電気・空調設備等の建物保守関係の業務、野外ステージや美術館に関わる管理業務等業務、合計 42 業務について第三者委託により実施した。
- ▼ 主な修繕について
 - ①有島武郎旧邸外壁改修工事
 - ②工芸館倉庫渡り廊下内装復旧工事
 - ③野外美術館《隠された庭への道》周辺芝生補修作業
 - ④美術館収蔵庫ドア修繕
- ▼ 野外美術館の作品は、その設置環境ゆえ定期的な状態の確認、補修を行っ

ている。日常的な点検は目視などの方法によるほか、9月以降、札幌市による彫刻作品の現況調査を実施し、これまでの修復歴や現状について情報提供を行うとともに、修復方法の探索を随時行った。

現況調査日程：令和3年9月21日～24日、
10月11日～13日、
11月17日

調査者：SDアート

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 施設維持管理にあたっては、来館者の安全・快適性を確保して適切に行った。警備・庭園管理については第三者委託により実施した。

▼ 主に下記の修繕を行った。

- ・本館玄関及びテラススタイル修繕
- ・本館庭園ベンチ塗装補修
- ・記念館電話配管修繕
- ・記念館ボイラー点検修理

▽ 防災

【札幌芸術の森】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・第1回消防訓練（総合） 12月2日
- ・第2回消防訓練（総合） 3月3日

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・地震発生時を想定した消防訓練 10月22日

4 事業の計画・実施業務

【札幌芸術の森】

▽ 音楽・舞台芸術事業

芸術文化の発信事業として展開してきた「サッポロ・シティ・ジャズ（自主事業）」や、ユース世代の交流による新たな音楽の創造を目指す事業「ユースジャムセッション」、22年目となる札幌ジュニアジャズスクール事業を通年で開催した。

▼ サッポロ・シティ・ジャズ 2021

札幌の観光文化事業を担う独自のジャズイベントとして開催15回目を迎えた。会期は夏から冬にかけて開催し、夏には、芸術の森野外ステージにて2年ぶりの開催となる「ノースジャムセッション」を実施。国内のトップミュージシャンと地元を拠点に活動するプロミュージシャンが演奏した。併せて、ユースジャムセッションに参加した10代から20代のユース世代が、ワークショップの成果を発表した。

秋に開催予定であったパークジャズライブはオンライン配信に変更し、117組が参加。同コンテストは、11月に音源審査により実施した。

冬には、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、札幌文化芸術劇場 hitaru を会場に、舞台上にステージと客席を設け、優れた舞台機構を活かし「シアタージャズライブ」を開催したほか、札幌市民交流プラザ内の SCARTS コートを利用した普及コンサートや札幌市図書・情報館と共催したライブラリー企画などの事業を展開した。

企業・団体との提携では、チ・カ・ホを会場としたサッポロ・サウンド・スクエアや時計台ライブなどのタイアップ事業も実施した。

なお、海外プロモーションとして予定していた、過去2年にわたるパークジャズライブコンテスト優勝アーティストの海外ジャズフェスティバルへの派遣は中止し、次年度以降に見送った。

▼ ジャズサロン・プランナー育成講座

受講生自らがプロミュージシャンとともにサッポロ・シティ・ジャズのプログラムとしてジャズサロンの企画を立案し、広報や運営までを手掛ける実践型の育成講座を6月から12月の約半年間をかけて実施。

成果発表として、12月に SCARTS コートを利用したジャズサロンを実施した。

▼ 札幌ジュニアジャズスクール

新型コロナウイルスの影響により、毎週末の定期練習が開催できない期間は、リモートによる交流やパート練習、フォトコンテストなどの企画を取り入れ、活動の継続を図ったほか、定期演奏会や芸術の森園内でミニコンサート、ユースジャムセッションでの活動を通年で行った。

また、ジュニアジャズ活動の振興を目的としたジャズの種プロジェクトは、道内4地域（広尾、ようてい、幕別、砂川）のジャズスクールと連携し、交流ワークショップをオンラインで行ったほか、ようていと札幌のジャズスクールが倶知安町で合同演奏を行い、他2地域（広尾町・砂川市）はオンラインで繋ぎ参加し、演奏を配信しあう新たなコンサートの試みを行った。

▼ バレエセミナー

日本人講師を迎え、開催33回目となるセミナーを実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が急激に広がったことを受け中止とした。

受講申込者に対し、公式ホームページ上で講師陣から寄せられたメッセージを掲載した。

▼ ユースジャムセッション

ユース世代の交流とジャズセッションにより新たなサウンドを創造する3カ年プロジェクトの2年目。道内ジャズバンドの参加を予定していたが内容を変更し、芸術監督タイガー大越のもと、ユース世代のビッグバンドとジャズコーラスの演奏を、ノースジャムセッションのプログラムのひとつとして開催。

札幌ジュニアジャズスクール中学生クラスやスクール卒業生、北海道グループキャンプの受講生など、ユース世代の音楽を志すメンバーによるスペシャ

ルバンドを編成し、3日間のワークショップとノースジャムセッションでの発表を行った。また、初めての企画となるジャズコーラスワークショップを8ヶ月間にわたり開催し、ノースジャムセッションやシティ・ジャズのプログラムで発表を行った。

▼ ビッグバンドプロジェクト

世界的ジャズピアニスト、デビッド・マシューズを音楽監督に迎え、地元ミュージシャンで編成した札幌ジャズアンビシャスの定期練習を通年で実施。1月には5度目の定期演奏会として、ユースジャムセッションワークショップに参加した中高生とのセッションや、弦楽アンサンブルと共演し、ジャズとストリングスの融合を披露した。

また、活動のプロモーションと地域交流を兼ね、石狩市、砂川市でライブに出演した。

▽ 芸術の森美術館事業

▼ 展覧会事業

展覧会企画数：7本

総入館者数：109,390人

(自主事業「札幌美術展 アフターダーク」を含む。)

①「札幌美術展 アフターダーク」(札幌市補助事業)

会期：令和3年2月27日～4月11日

38日間(令和2年度28日間/令和3年度10日間)

入場者数：4,807人(令和3年度2,079人)

テーマを設定し、地域の美術家を紹介してきた「札幌美術展」。今回は、文明の発達に伴い人々が常に向き合ってきた「夜」という時間帯に焦点を当てた。

私室で憩う人々や厳しい自然を生きる野生動物たち、覚醒と睡眠、生と死、夜空の星々、歓楽街のネオンなど、夜をめぐるさまざまな営為を主題とした表現活動を行う北海道および札幌の現代作家11組を選出、夜をめぐる表現の時代性や地域性を探求した。

②THE ドラえもん展 SAPPORO 2021

会期：令和3年4月29日～6月27日

60日間(内34日間臨時閉館)

入場者数：19,921人

「あなたのドラえもんをつくってください」をテーマに、国内外で活躍する28組のアーティストに作品制作を委嘱。本展のために制作された絵画、書、彫刻/フィギュア、映像、インスタレーションなど多彩なジャ

ンルの作品を一堂に会し、国民的アイコンである「ドラえもん」をテーマにした創造世界を体感できる展覧会とした。

③アート×コミュニケーション=キース・ヘリング展

会期：令和3年7月17日～9月26日

72日間

入場者数：27,768人

1980年代のアメリカ美術を代表するアーティスト、キース・ヘリングの回顧展。ストリート・アート、グラフィティ・アートの先駆者でもあるヘリングの功績を、絵画や彫刻、グッズなど、中村キース・ヘリング美術館が所蔵する作品によって紹介した。当館の自主企画展。

④札幌美術展 佐藤武（札幌市対象事業）

会期：令和3年10月9日～令和4年1月10日

80日間

入場者数：7,620人

北海道札幌市・石狩市を拠点に活動する佐藤武の回顧展。地域にゆかりのある美術家を紹介してきた「札幌美術展」の第14回として行った本展では、佐藤の画業の変遷を詩とあわせて辿るとともに、立体作品や写真といった近年取り組む絵画以外の制作も紹介し、旺盛な創作活動を続ける作家像に迫った。

また、アーティストトークは、実開催のほかに期間限定で動画公開も行った。

⑤きみのみかた みんなのみかた

会期：令和4年1月22日～3月13日

44日間

入場者数：3,443人

札幌芸術の森美術館の所蔵する約1,700点の作品から、選りすぐりの作品64点を展示。自分なりの作品の見方を発見できるよう、作品キャプションを提示せず、ワークショップエリアを設けるなど展示に工夫を凝らした。関連事業として、「ハロー！ミュージアム」で取り入れている「対話による鑑賞」体験や動画配信などの鑑賞プログラムを複数実施し、教育普及事業の充実を図った。

⑥札幌芸術の森美術館コレクション選 新収蔵作品展

（一期）

会期：令和3年2月27日～4月11日

38日間（令和2年度28日間／令和3年度10日間）

会場：B展示室

入場者数：2,139人（令和3年度1,679人）

令和2年度に新しく収蔵された札幌および北海道にゆかりのある作家の作品45点のうち10点の作品を展示。現代美術を代表する4名の新収蔵作品を紹介した。

(二期)

会期：令和4年1月22日～3月13日

44日間

会場：B展示室

入場者数：2,201人

令和3年度に新しく収蔵された札幌および北海道にゆかりのある作家の作品45点のうち7点と既存の収蔵作品3点を展示。既存の収蔵作品との関連性を検証した。

▼ 野外美術館

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5月18日～6月20日、7月4日～11日、9月27日～30日まで休館となった。入口には消毒液を設け、以前は触れることが可能だった彫刻には手を触れないよう来館者に案内した。来館者への作品鑑賞サポートとして、野外美術館作品解説ボランティア28名による作品解説、を行った(5月14日～7月11日、8月27日～9月30日活動休止)。

野外美術館の作品鑑賞の手引きとして、彫刻鑑賞ノートのほか、子ども向けには、シールを貼りながら作品を楽しく学ぶことができるシールマップを制作販売した。また、自分のスマホで作品解説を聞ける「ポケット学芸員」の提供を行った。

▼ 教育普及に関する事業

佐藤忠良子どもアトリエにて、彫刻家・佐藤忠良の作品を中心とした当館所蔵品を展示するとともに、ワークショップを企画・実施した。

<ねんどで彫刻>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、11月1日～12月28日のみ開催、期間限定で材料を持ち帰り用とした。合計263人

<ちびっこ油絵>

1月8日～30日までの土・日・祝日全9回実施

参加者：40人

▽ 工芸・工房事業

▼ 第21期工芸館常設展示事業

会期：令和3年4月29日～令和4年3月13日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月18日～6月20日まで中止。

会場：工芸館常設展示スペース「ベストポケット」

幹旋販売額：5,003,274円（前年度実績：5,018,750円）

クラフト作家に展示機会を提供し、市民には良質な作品と出会い購入できる場を提供することによってクラフト文化の普及を図るため、工芸館の展示ホールに常設展示スペースを設置している。開設から21期目となる今年度は、春夏秋冬の4期ごとに20～25人程度の作家を入れ替えた。作品には作家からのメッセージなどを添えて、来館者が作り手に対してより親しみを持てる展示となるよう工夫した。また特別企画としてマグカップを特集した特別展示「マグカップの森」（10月9日～1月10日）を実施、32名の作家が製作したマグカップ約230点を展示・販売した。

今年度の出品作家は北海道内で活動する78名。

▼ 工芸・版画講習会事業

会期：令和3年4月～令和4年3月

（令和3年5月～9月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止期間あり）

会場：クラフト工房（大・中・小制作室）、木工房、織工房、版画工房、染工房

講習会総実施回数：135回（前年度実績：8回）

講習会総受講者数：1,482人（前年度実績：53人）

ものづくり制作体験キット販売個数：948個（前年度実績：496個）

毎年、陶芸、テキスタイル、木工、七宝、ガラス、金工、版画の各分野の講習会を開催している。個人向けには初級から上級までの幅広いコースを用意しているほか、修学・研修旅行やPTA、企業等のグループ向けの「グループ講習会」、札幌市内の児童会館を対象とした子供向けグループ講習会、クラフト工房来館者が事前の申し込みなしで気軽に作品制作を体験できる「ふらっとクラフト体験」などを実施しているが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止または規模を縮小し開催した。

昨年度より新たに企画した、気軽に制作体験出来るキット「おうち de クラフト」については、新たに3種類のキットを追加し販売した。オンラインストアでの販売を継続し、時間や場所に縛られず、ものづくりを体験出来る機会を創出した。

▼ アウトリーチ事業

①ものづくり制作体験キットを活用した事業展開として、小学校授業の一環である札幌市主催の「学校 DE カルチャー」を実施した。

会期：令和3年12月

実施回数：1回（前年度実績：1回）

実施校：札幌市立北都小学校3学年（66名）

実施人数：66名（前年度実績：73名）

②市内各施設に職員が出向いて工芸講習会の体験イベントを行った。

会期：令和3年11月～令和4年1月

実施回数：16回

参加人数：187名

▽ その他の文化芸術事業

▼ 「芸森アートマーケット」

芸森の園内を会場に、市民の作品発表・展示の場を提供する事業として継続して実施しており、2回開催した。

市民アーティストが様々なジャンルの手作りアート作品を持ち寄り、発表・展示・販売を行った。

▽ 各種団体との提携による文化芸術の振興

これまで芸森の森の冬季集客促進のために共催していたライブイベント「OTO TO TABI」が2年連続で開催できなかったことから、感染対策を講じ、初夏の芸森の森野外ステージで開催した。

また、園内の環境を活用し、マンガやアニメのキャラクターに扮するコスプレ撮影イベント「あめいず村」を共催で開催した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 展覧会事業

▼ 総入館者数 11,846人（本館 7,502人、記念館 4,344人）

【本館】

下記の展覧会を開催した。

●特別展

①「開館40周年記念展 宮の森 この地が生んだ美術」

会期：令和3年7月13日～8月29日

42日間

入場者数：795人

②「札幌彫刻美術館 40年のあゆみ展」

会期：令和3年7月13日～8月29日、10月1日～令和4年1月16日、
1月28日～5月31日（予定）

230日間（令和3年度178日間／令和4年度52日間予定）

入場者数：3,088人（令和3年度）

③「第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 高橋喜代史展 言葉は橋をかける」

会期：令和3年10月1日～令和4年1月16日

88日間

入場者数：1,965人

④「さっぽろ雪像彫刻展 2022」

会期：令和4年1月28日～30日

3日間

入場者数：652人

●コレクション展

①「本郷新・全部展③ 彫刻の設計図」

会期：令和3年4月10日～5月3日

21日間

入場者数：148人（令和3年度）

②「はじめてのほんごうしん」

会期：令和4年1月28日～5月31日（予定）

106日間（令和3年度54日間／令和4年度52日間予定）

入場者数：327人（令和3年度）

【記念館】

本郷新の代表作や野外彫刻の石膏原型、制作道具などの常設展示を行った。令和3年度に2階の一角に本郷新や彫刻芸術に関する図書を自由に閲覧できる図書・情報コーナーを拡充した。

●コレクション展

①「没後40年記念 本郷新・全部展②」

会期：令和2年10月3日～令和3年4月22日

167日間（令和2年度148日間／令和3年度19日間）

入場者数：114人（令和3年度）

②「本郷新・全部展④ 100の石膏像」

会期：令和3年4月29日～令和4年5月31日（予定）

247日間（令和3年度195日間／令和4年度52日間予定）

入場者数：4,068人（令和3年度）

▽ 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業

▼ 本郷新記念札幌彫刻賞（第3回）

「第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 高橋喜代史展 言葉は橋をかける」

会期：令和3年10月1日～令和4年1月16日

88日間

入場者数：1,965人

▽ 彫刻を中心とした美術に関する講座等

▼ 普及事業

●子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」

（彫美・鑑賞コース、彫美・表現コース）【自主事業（札幌市補助金事業）】

参加校数：15校 24回

(彫美・鑑賞コース 13校 19回、彫美・表現コース 2校 5回)

参加者数：児童 822人

(彫美・鑑賞コース 759人、彫美・表現コース 63人)

引率 76人

(彫美・鑑賞コース 65人、彫美・表現コース 11人)

●彫美連続講座 2021

実施回数：3回

参加者数：162人

会場：札幌市民交流プラザ（内1回はオンラインのみ）

●造形教室

・夏休み子ども造形教室

参加者数：24人

・冬休み造形教室

参加者数：29人

▼ 学校協力

●聖心女子学院中等部による彫刻清掃ボランティア活動

参加生徒数：10人

●学芸員資格取得希望の大学4年生を対象とした博物館実習（館園実習）の受け入れ

参加学生数：大学4年生3人（各7日間計45時間）

●三角山小学校3年生の総合的な学習の時間枠での博物館利用

参加児童数：144人

▽ その他彫刻美術館の設置目的を達成するための事業

▼ 促進事業

①サンクスデー

実施回数：1回

入館者数：238人

②さあ！まわろう SAPPORO～見どころ施設無料化キャンペーン（記念館）

入場者数：1,443人

▼ ボランティア活動の受け入れ

ハロー！ミュージアムで児童への鑑賞指導を行うボランティア（協力員）を受け入れ、実際の活動と事後の研修を行った。また、今年度より図書・情報コーナーを常時開設したことに伴い、「図書・情報コーナーボランティア」と「スクラップブックボランティア」を一本化し、「資料整理ボランティア」と改称した。

▼ 連携事業

財団他施設との連携

- ・札幌文化芸術交流センター SCARTS と連携して「彫美連続講座」を3回開催した。

5 施設利用に関する業務

【札幌芸術の森】

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

		R2 実績	R3 計画	R3 実績
アート ホール アリーナ	件数(件)	194	204	199
	人数(人)	10,715	14,240	17,330
	稼働率(%)	65.2	63	73.9
アート ホール 練習室	件数(件)	1,358	1,687	1,302
	人数(人)	9,387	14,885	10,189
	稼働率(%)	43.8	51	55
野外 ステージ	件数(件)	25	33	27
	人数(人)	2,443	16,429	8,736
	稼働率(%)	16.4	19	67.5
各種 研修室	件数(件)	2,766	3,937	2,175
	人数(人)	3,048	5,150	2,693
	稼働率(%)	71.9	78	68.3
各種窯	件数(件)	183	287	157
	人数(人)	183	522	157
	稼働率(%)	37.6	28	16.8
各種 アトリエ・ ロッジ	件数(件)	144	277	125
	人数(人)	746	2,199	655
	稼働率(%)	13.6	23	15.1
駐車場	件数(件)	60,293	68,000	32,575

▼ 入場者数

(人)

		R2 実績	R3 計画	R3 実績
総入園者数		434,520	500,000	271,719
	芸術の森美術館	177,066	170,000	109,390
	芸術の森野外美術館	61,246	50,000	22,221

▽ 不承認 0件、 取消し 122件、 減免 130件、 還付 90件

▽ 利用促進の取組

札幌芸術の森や文化芸術に気軽に親んでもらうこと、来園者増を目的としたイベントを7事業開催した。

- ①スプリングフェスタ 2021
- ②芸森バースデー2021
- ③芸森ちいさな秋フェスティバル
- ④SAPPORO ART CAMP ―Winter Flower Forest―
- ⑤あしたのげいもり Extract
～世界一静かな森のフェスティバル～
- ⑥芸森フォトコンテスト
- ⑦芸森かんじきウォーク

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

展覧会事業		R2 実績	R3 計画	R3 実績
本館 展示室	展覧会件数	6	5	6
	開館日数	220	247	205
記念館	展覧会件数	2	2	2
	開館日数	267	299	214
本館入館者数		10,863	9,000	7,502
記念館入館者数		7,091	6,000	4,344

その他事業		R2 実績	R3 計画	R3 実績
本館展示室利用	利用件数	1	0	1
	利用日数	2	0	2
本館 研修室利用	利用件数	17	9	8
	利用日数	35	16	15
本館 屋外利用	利用件数	2	2	2
	利用日数	12	12	12

▽ 不承認 0件、 取消し0件、 減免 0件、 還付 0件

▽ 利用促進の取組

- ▼ 「サンクスデー」として無料開館し、コロナ禍でも安心して楽しめるプログラムを実施し、幅広い層の来館を促す工夫をした。また、札幌市の観光需要及び施設への需要喚起を目的とする、無料対象施設として記念館の所蔵品展の観覧料を無料とした（令和3年11月20日～12月19日）

6 付随業務

▽ 広報業務

【札幌芸術の森】

- ▼ 広報の充実

園内の各施設の担当者が集まり広報会議を定期的に行い、施設や課、係それぞれが携わる様々な事業について情報を共有し、積極的な情報発信を図った。
- ▼ ホームページによる情報発信の充実

平成 28 年 11 月に全面リニューアルを実施したホームページの内容をさらに充実させた。また、季節にあわせトップページのメイン写真を変更し、芸術の森の自然を含む魅力を伝えた。

サッポロ・シティ・ジャズやバレエセミナー等の情報量が多い事業は、引き続き個別のホームページを設け、ターゲットを絞った情報発信を行った。

 - ・ホームページアクセス数
 - R3 : 1,588,685 件 (参考) R2 : 2,032,547 件
- ▼ その他 SNS による情報発信の充実

Twitter、Facebook や Instagram でリアルタイムの情報発信を行った。
- ▼ ニュースリリースによるマスコミへの情報提供

毎週、市政記者室をはじめマスコミ、事業関係者などに、芸術の森の最新情報をリリースする「今週の芸森。」をメールマガジン形式で配信するとともにホームページに掲載し、スピーディな情報発信に努めた。
- ▼ ウェブアクセシビリティ取組確認を実施し、2022 年 3 月 15 日にホームページに公開した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 通常のホームページ運営に加え、Facebook や Twitter などの SNS でのこまやかな情報発信に努めた。また、宮の森地区連合町内会、近隣小学校へのチラシ配布を通じて地域住民への広報に積極的に取り組んだ。
- ホームページアクセス数 : 33,245 件 (参考) R2 : 35,902 件
 - Facebook フォロワー数 : 1,098 件 (参考) R2 : 1,056 件
 - Twitter フォロワー数 : 4,594 件 (参考) R2 : 4,288 件

芸術の森の連携により、広報ツール（ニュースリリースや情報紙もりくる）の共有も行っている。
- ▼ ウェブアクセシビリティ取組確認を 2022 年 1 月 25 日に実施し、結果をホームページに公開した。
- ▼ ホームページの管理・運営にあたっては、日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠するとした「ウェブアクセシビリティ方針」を定めて公開し、利用者の立場に立った情報の提供に努めている。また、同方針に基づいた運用試験を着実にを行うよう準備を進めている。

▽ 引継ぎ業務

(前回から継続指定のため、引継業務なし)

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

【札幌芸術の森】

- ▼ 例年同様、令和3年度も各種保守点検、修繕業務などの再委託については、その大部分を市内の企業に発注している。また、高齢者就労支援業者（シルバー人材センター）に受付業務の一部を委託した。また、福祉施設の活用として、札幌芸術の森美術館で開催される展覧会等の広報印刷物の封入作業を、近隣の就労支援施設に発注している。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 業務委託、消耗品等の購入は市内の企業を活用した。
- ▼ 一部清掃、クリーニング業務を市内の福祉施設に発注した。

7 利用者アンケートの結果

【札幌芸術の森】

実施方法	令和3年4月～令和4年3月 施設・事業毎のアンケート用紙を作成し配布。
結果概要	回答 3,406 件 (施設利用者アンケート 364 件、事業アンケート 3,042 件) 施設に対する総合的な満足度は 92.3% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と、例年とほぼ変わらない満足度を維持できた。職員の接客に対する満足度についても、94.5% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と、前年度と同様の数値を維持できた。 施設表示の工夫や施設利用に関する意見や要望については、可能なものから都度迅速に対応するように努力した。
利用者からの意見・要望とその対応	利用者からの意見や要望に関しては、職員間で情報を共有し、その都度迅速に対応したほか、ホームページ上で対応等含め閲覧できるように対応した。 意見・要望については別添のとおり

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

実施方法	無記名の記入方式(通年) アンケート用紙を本館ロビーと記念館2階に配置 ※令和3年5月4日～7月11日、8月31日～9月30日は臨時休館のため、アンケート回収無し。
結果概要	回答 525 件 来館者の施設に対する総合的な満足度は約 95.4% (「とても良い」、「良い」の合計)、職員の接客についての満足度は約 90.1% (「とても良い」、「良い」の合計) と、総じて高い評価を得ることができた。
利用者からの意	【要望】外の像に鳥のフンが付着しているので、きれいにしたら良いと思

見・要望とその 対応	う。 【対応】注視とこまめな清掃により改善した。 【要望】こんな不便なところに来て、中で飲食不可なのはツライです。 【対応】新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しつつ、緩和を検討している。
---------------	--

Ⅱ 管理業務に係る収支決算

【札幌芸術の森】、【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 収支一覧

(千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	856,539	801,049	▲ 55,490
指定管理業務収入	795,493	743,509	▲ 51,984
指定管理費	670,246	690,298	20,052
利用料金	47,338	29,834	▲ 17,504
その他	77,909	23,377	▲ 54,532
自主事業収入	61,046	57,540	▲ 3,506
支出	892,507	861,211	▲ 31,296
指定管理業務支出	814,240	787,180	▲ 27,060
自主事業支出	78,267	74,031	▲ 4,236
収入-支出	▲ 35,968	▲ 60,162	▲ 24,194
利益還元			0
法人税等			0
純利益	-35,968	▲ 60,162	▲ 24,194

▽ 説明

- ▼ 指定管理費について、今期は令和2年6月～令和3年10月分の施設キャンセルに係る補填金を受けたことにより、増収となった。
- ▼ 利用料金収入とは、野外美術館観覧料、工房利用料、駐車場利用料等である。令和3年度は、新型コロナウイルスの影響による施設の休館や貸館事業の中止により、利用料金全体で計画比17,504千円の減収となった。
- ▼ その他収入とは、講習会受講料、企業協賛金、他の団体からの助成金等である。新型コロナウイルスの影響による展覧会の会期縮小や、バレエセミナー等大規模イベントの中止により、計画比54,532千円の減収となっている。
- ▼ 指定管理業務支出は、事業の中止・縮小による諸謝金や委託費の減少が主な要因となり、計画比27,060千円の減となった。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

1 飲食・物販事業

【札幌芸術の森】

▽ レストラン事業

センター2階の野菜を中心にしたビュッフェレストラン「ごちそうキッチン畑のはる」では、北海道産、とりわけ札幌近郊の食材を取り入れたメニューを通年で提供。また、美術館ではカフェ「ラ・フォルア」を営業した。(利用者：4,895人)

▽ 売店事業

営で運営しているミュージアムショップでは、展覧会の大規模な特設ショップとは別に、オリジナルグッズや展覧会から連想されるグッズなどを独自に取り扱った。ドラえもん展では現代アート、キース・ヘリング展ではポップアートを特集するなど、好評を得た。

また、令和4年2月からオンラインショップを開設し利用者のニーズへの対応とサービスアップに努めた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 自動販売機を設置し、来場者の利便性向上に努めた。

2 補助金交付の対象となる自主事業

▽ 「札幌美術展 アフターダーク」(札幌市補助事業)

※展覧会事業再掲

テーマを設定し、地域の美術家を紹介してきた「札幌美術展」。今回は、文明の発達に伴い人々が常に向き合ってきた「夜」という時間帯に焦点を当てた。私室で憩う人々や厳しい自然を生きる野生動物たち、覚醒と睡眠、生と死、夜空の星々、歓楽街のネオンなど、夜をめぐるさまざまな営為を主題とした表現活動を行う北海道および札幌の現代作家11組を選出、夜をめぐる表現の時代性や地域性を探求した。

<夜間開館>

4月3日と10日(いずれも土曜日)に午後7時まで延長開館。延長時間の観覧者数：4月3日40名、4月10日57名

▽ 札幌美術展 佐藤武(札幌市補助対象事業)

※展覧会事業再掲

北海道札幌市・石狩市を拠点に活動する佐藤武の回顧展。地域にゆかりのある美術家を紹介してきた「札幌美術展」の第14回として行った本展では、佐藤の画業の変遷を詩とあわせて辿るとともに、立体作品や写真といった近年取り組む絵画以外の制作も紹介し、旺盛な創作活動を続ける作家像に迫った。

また、アーティストトークは、実開催のほかに期間限定で動画公開も行った。

▽ 子どもの美術体験事業「ハロー！ミュージアム」

市内の小学校5年生児童を対象に、鑑賞活動及び造形活動の楽しさを体験するプログラムを実施。「芸術の森美術館コース」「野外美術館コース」「子どもアトリエコース」「彫美・鑑賞コース」「彫美・表現コース」の5つのコースを設定した。事前学習を担当教師が行うなど、学校が主体となって活動する方法を採用している。担当教師向けに、各コース会場において、活動に関する説明及び事前学習の模擬授業と教材(事前学習キット)の配布を行った。また、鑑賞学習をサポートする協力員(教育サービスボランティア)の養成講座を実施し、今年度は63名が活動した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、45校が中止となったが、日程変更を繰り返しても来園する学校も多かった。

コース別参加校数等

- ・ 芸術の森美術館コース:75校 78回
- ・ 野外美術館コース:43校 43回
- ・ 子どもアトリエコース:7校 11回
- ・ 彫美・鑑賞コース:13校 19回
- ・ 彫美・表現コース:2校 5回

総参加校数 : 140校 156回

総参加児童数 : 10,373人